

研究実施に関する情報公開

琉球大学医学部附属病院産科婦人科では、人を対象とする医学系研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。この研究では、患者さんのカルテに記載された臨床データを研究資料として使用させていただきます。倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。研究対象者となる患者さんは研究実施されることに拒否することができます。その場合は産科婦人科スタッフ、または下記問い合わせまでご連絡下さい。研究に参加することに拒否された場合でも、不利益が生じることはございません。

研究課題名：局所進行子宮頸部腺癌に対するパクリタキセル＋シスプラチンを用いた同時化学放射線療法の効果と安全性 -長期フォロー成績の検討-

研究期間：倫理審査委員会承認後 ～ 2020年3月31日

対象とするもの：患者さんの診療記録情報（カルテ）

目的：子宮頸部腺癌は、子宮頸癌全体の15～20%を占め近年増加傾向にあります。進行例では、リンパ節転移、遠隔転移が多く、放射線の治療効果がやや不良であり、また従来の化学療法による治療成績も満足いくものとはいえず、手術不能の進行癌の治療にあたっては治療法に苦慮することが多い病気です。予後向上を目的として、当科では2003年より、局所進行子宮頸部腺癌に対してパクリタキセル＋シスプラチンを用いた同時化学療法放射線療法を実施しています。今回その長期フォロー治療成績（局所制御、再発様式、有害事象）について調査・検討するために、この研究を行います。

研究の対象となる患者さん：2003年1月1日より2016年12月31日までの間に子宮頸癌（腺癌）に対し同時化学放射線療法（パクリタキセル＋シスプラチンを用いた化学療法を併用）を受けた患者さんが対象となります。研究の対象となることを希望されない方、または研究対象者のご家族等の代理人の方は、当科までご連絡ください。

方法：対象となる患者さんの診療録（カルテ）より、治療の内容、経過、副作用、予後情報などについて抽出して集計します。

プライバシーの保護について：本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切分からない形で集計します。

お問い合わせ：本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記の研究事務局へご連絡下さい。また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、当科までご連絡をお願いします。

【研究責任者】

琉球大学医学部附属病院 産科婦人科 教授

青木 陽一

Tel:098-895-1177 Fax:098-895-1426